

リーディングプロジェクト

(自転車や公共交通機関と連携した誰もが移動しやすい道路空間整備)

中心市街地や鉄道駅周辺の市街地、主要バス路線が通過する郊外の住宅団地などの既存の道路空間を有効に維持・活用していくため、歩行者や自転車利用者の安全に配慮するとともに、障害者や高齢者に配慮したユニバーサルデザインを取り入れた道路空間を整備する。

また、駅やバス停につながる自転車歩行者道、自転車専用レーンの整備、利用しやすい駅前やバス停の環境づくりなど、自転車や公共交通機関と連携した誰もが移動しやすい道路空間を整備する。

注) 既存ストックの有効利用：道路整備により一定確保された道路空間が利用者の視点から使いやすいものとなるよう、今ある道路空間に様々な工夫を取り入れて効果を最大限に発揮する取り組み

ユニバーサルデザイン：文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）

(市民生活や産業活動を支える道路空間整備)

南北方向の慢性的な渋滞や朝夕を中心とした東西方向の渋滞を解消するため、都市内の通過交通を排除するバイパスや環状道路の整備促進、既成市街地における交差点や渋滞ネック箇所を整備する。

なお、人口推移や交通量、まちづくり方針の変化などを踏まえて、長期間未着手となっている都市計画道路を見直し、重点化するとともに集中的に整備する。

【平成 20 年度末都市計画決定路線の改良率(暫定供用含む) 74.5%】